



今年度の取り組み

今年度の事業の柱

今年度GECバイオとしては、大きく二つの柱を掲げて事業を展開していく。

一つが、燃料調達事業（PKS、半炭化等）もう一つが、活性炭事業の構築である。

燃料の調達事業においては、インドネシアには日本が必要とする、多くのバイオマス燃料の原材料が顕在している。

特に今年度は、グループ会社であるAAI株式会社が日本の電力会社に対してPKSや木質ペレットの販売を行っていく。

弊社は、AAIと協力して日本の電力会社へ売る際のDD（デューデリジェンス）のフォローを行っていく。

もう一つの柱は、活性炭事業を構築していくことである。

活性炭は、小さい物は水槽用の水処理用の物から、大量消費の分野では下水上水処理並びに発電所プラントの水処理用として使用されている。大量生産、大量販売は弊社では難しいので、ターゲットを発電用プラントの水処理用としての高機能活性炭に集約し、今後設計開発並びに製造を行っていく。

特に今年度はスタートアップとして補助金などを活用し、活性炭製造装置の図面作成や研究などを行い来年度への布石を打っていく。

活性炭事業

弊社は、熊本県立大学と共同で活性炭事業を行っていくことに合意をし、今後事業を展開していく。

今回その第一弾として「熊本県産業廃棄物排出量抑制支援事業補助金」（6/21締切）の補助金を熊本県立大学、熊本県内企業、弊社の三社間で申請を行っていく。

弊社の役割としては、技術的なアドバイスと分析機器の選定、販売を行っていく。

本補助金では、廃棄物を減容化させるために炭化を行い、それを廃棄するのではなく、賦活処理を行い活性炭にし、活用方法を模索する。



今後の予定

7/3・4のインドネシア県知事会に参加予定。